

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。また、本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

## 製品仕様

水晶発振周波数: 32,768kHz  
表示内容: アナログ部=時・分・秒 (3針)  
電波受信機能: 自動受信 (7回/日\*)、手動受信  
\* 午前2:01 / 午前3:01 / 午前6:01 / 午前10:01 / 午後2:01 / 午後6:01 / 午後10:01  
自動選局機能  
[受信電波=長波標準電波 JJY / 周波数=40kHz / 60kHz] 「時・分・秒」を受信  
精度: 電波受信による時刻修正が行なえない場合は、月差±30秒以内  
その他: LEDライト (夜見えライト機能)  
主要回路素子: 省型高性能水晶振動子、CMOS-LSI  
使用温度: 0°C~40°C  
使用電池: 単2形アルカリ乾電池 (LR14) 2個  
電池寿命: 約1年 (電波受信7回/日、夜見えライト機能8時間/日 (弱) 使用した場合)  
※夜見えライト機能8時間/日 (強) で使用した場合、約6ヶ月となります。

### ◆ 使用電池に関して

本機は、アルカリ乾電池の特性に合わせて設計されています。充電式電池は、使用しないでください。初期電圧が低く、電池の特性が合わないため、使用すると本機が正常に動作しない、または電池寿命が極端に短くなる場合があります。

## 本機の特長

- 電波時計 (国内2局対応 自動選局機能付) 福島県「おたかどや山標準電波送信所」(40kHz) 佐賀県と福岡県の境「はがね山標準電波送信所」(60kHz)
- 正確な時刻を表示
- 夜見えライト機能
- 秒針停止機能

## ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気のある場所」、「強い振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさけてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になりますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気が多い場所では使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことは避けてください。
  - ・テレビの上など (テレビ画面に色むらが起こる場合があります)
  - ・時計、キャッシュカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど
- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。
- この製品は、日本電波仕様です。海外で使用した場合、まれに日本標準電波を受信して、日本の時刻を表示してしまうことがあります。海外でのご使用には対応していません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

## 安全上のご注意

### 絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々の危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています (左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています (左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています (左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

### ⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ⚠ 警告

#### 袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

#### 電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

### ⚠ 注意

#### 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となる場合があります。



#### 設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となる場合があります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となる場合があります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となる場合があります。

#### 電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となる場合があります。次のことは必ずお守りください。

- 極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

## 電源について

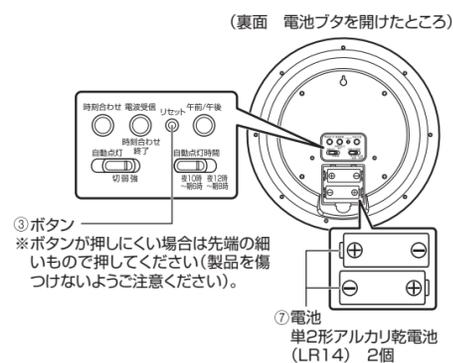
- 本機は単2形アルカリ乾電池を2個使用します。
- 電池はできるだけ「カシオ指定の電池」または同等品をご使用ください。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

### お願い

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

### ■ 電池交換のしかた (電池は全て交換してください)

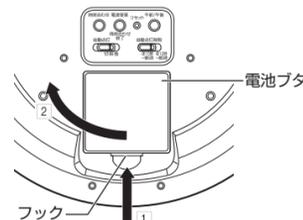
- (1) 電池タを開け、古い電池を取り出します (「電池タの開け方」参照)。
- (2) 新しい電池の⊕⊖を間違えないように入れ、完全に押し込みます。
- (3) 電池交換後、③ボタンを押します。
- (4) 電池タを閉じます。



### ● 電池タの開け方

電池タを開けるときは下記のように開けてください。

- ① 電池タに指をかける (フックを押す)。
- ② 本体を押さえながら電池タを外側に開く (フックを押しながら開く)。



### <ご注意>

- 電池の残量が残っている場合でも1年に1回は全部の電池を交換してください。
- 電池の⊕⊖の向きは正しく入れてください。
- 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください (定期的な交換をおすすめします)。
  - ・誤動作 (時刻やアラーム等のリセット、報音の停止、時刻狂いなど) することがあります。
  - ・液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
  - ・アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池\*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
  - \* モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
- ※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずすぐにふきとってください。

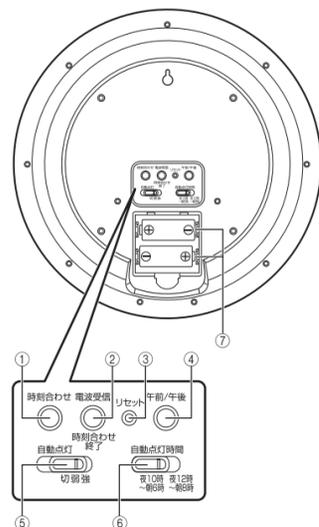
## 各部の名称

● 本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。

### (表面)



### (裏面 電池タを開けたところ)



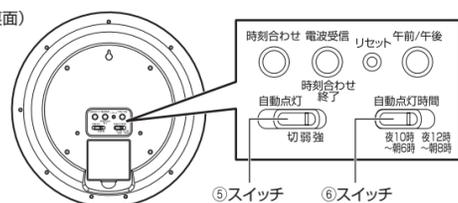
- ① ボタン (時刻合わせ) 現在時刻を合わせるときに使用します。
- ② ボタン (電波受信 時刻合わせ終了) 押しと電波受信を行ないます (手動受信)。時刻を合わせるときは「時刻合わせ終了」となります。
- ③ ボタン (リセット) 電池交換後、必ず押します。 ※ ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押しってください (製品を傷つけないようご注意ください)。
- ④ ボタン (午前/午後) 時刻合わせのときに、午前/午後を切り替えます。受信ランプの色で、午前/午後をお知らせします。 午前…緑色の点滅 午後…赤色の点滅

- ⑤ スイッチ (自動点灯) 夜見えライトの明るさを選ぶことができます (切/弱/強)。
- ⑥ スイッチ (自動点灯時間) 夜見えライトが自動点灯する時刻を選ぶことができます (夜10時~朝6時 夜12時~朝8時)。
- ⑦ 電池 ⊕⊖を間違えないように入れてください。

## 夜見えライト機能の使い方

夜見えライト機能をオンにすると、表示のライトが点灯し続けるので、夜間など暗いところでも時刻を確認できます。夜見えライト機能では、以下を設定できます。

- 点灯時間 (夜10時~朝6時 / 夜12時~朝8時)
- 明るさ (強 / 弱 / 切)



### ● 点灯時刻の設定

- ⑥ スイッチで設定することができます。
  - 夜10時~朝6時 (夜10時~朝6時までの間、夜見えライトが点灯します)
  - 夜12時~朝8時 (夜12時~朝8時までの間、夜見えライトが点灯します)

### ● 明るさの設定

- ⑥ スイッチで設定することができます。
  - 強 (オン) …点灯時刻になると、自動的に夜見えライトが点灯します。明るく照らします。
  - 弱 (オン) …点灯時刻になると、自動的に夜見えライトが点灯します。光量を落として照らします。
  - 切 (オフ) …夜見えライトは点灯しません。

### ● 秒針停止機能

夜見えライトの点灯している間は、秒針が00秒の位置で停止して、秒針のコチコチ音がなくなります。

#### 秒針が停止している時間

→ ⑥ スイッチでセットした、いずれかになります。

- 夜10時~朝6時の間
- 夜12時~朝8時の間

#### 秒針停止機能のオン/オフ

→ 夜見えライト機能と連動しています。夜見えライト機能がオンの場合 (⑥ スイッチが強または弱の場合) 秒針停止機能もオンとなります。 ⑥ スイッチを切にするか点灯時間が終了すると秒針停止機能が解除され通常通り動き始めます。

### ● 「受信ランプのインジケーター機能」の停止について

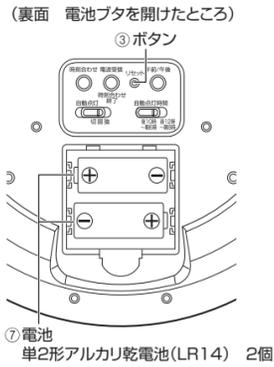
夜見えライト機能がオン (⑥ スイッチが強または弱) の場合、夜見えライトの点灯している間は受信ランプのインジケーター機能 (「電波時計について」参照) は行ないません。

# 本機の使用方

本機ご購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。  
※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

## 1 電池を入れます

電池プタを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。  
→電池を入れると同時に時・分・秒針が「12:00 00」の位置に向けて自動的に動き始めます。  
※針は正転方向（進む方向）に進みます。  
※電池を入れても針が動き出さないことがあります。この場合には、③ボタンを押すと針が動き始めます。  
※針が止まるまで、最大5分程度かかります。



## 2 リセット操作を行ないます (③ボタンを押します)

→電池を入れた時と同様に時・分・秒針が「12:00 00」の位置に向けて自動的に動き始めます。  
※電池交換を行なったあとは、必ず③ボタンを押してください。  
※リセット操作が終わったら電池プタを閉じます。

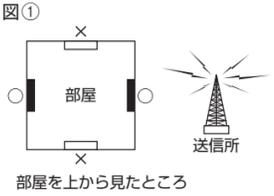
## 3 本機を使用したい場所に置きます

時・分・秒針が「12:00 00」の位置で停止すると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないます。窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。  
※受信中は受信ランプで受信状態をお知らせします（インジケーター機能）。

### 受信ランプのインジケーター機能

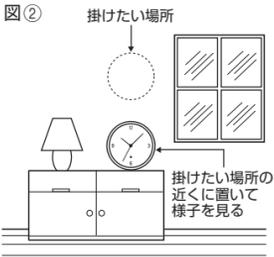
受信ランプの色（点滅表示）でお知らせします。  
・受信しやすい場合…緑色の点滅  
・受信しにくい場合…赤色の点滅

・受信しやすい場所でも緑色の点滅になるまで5分程度かかります。  
・天候、時間、環境等により電波の状態は変化します（赤色→緑色、緑色→赤色になることがあります）。  
・受信ランプは受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。



受信中は以下のように針が動作します。

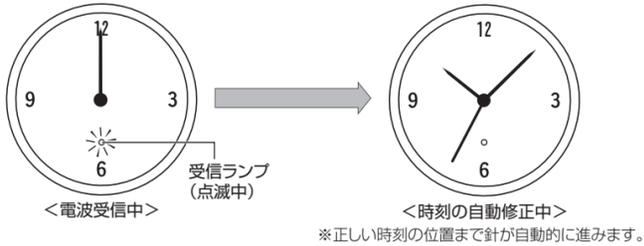
- 電池交換時及びリセット操作をした場合  
→時・分・秒針は12:00 00で停止したまま受信を行ないます。
- 自動受信中の場合  
→時・分・秒針は連針させたまま受信を行ないます。但し受信しやすい為、多少ずらして連針します（1秒以内）。
- 手動受信中の場合  
→時・分・秒針は連針させたまま受信を行ないます。但し受信しやすい為、多少ずらして連針します（1秒以内）。



受信終了後、各針は通常連針を行ないます。  
※1回の受信は約2～16分間です（リセット直後は、約4～16分間です）。  
※受信中にボタン操作を行なうと受信を中断しますので、受信中はボタン操作を行なわないでください。

### 受信成功

- 正しい時刻の位置まで針が自動的に進みます。
- ・針の時刻が1分前を進んでいた場合は、その間針は停止します。
  - ・時刻修正が完了するまで、最大5分程度かかります。
  - ・時刻の修正中は、手動受信は行なえません。
  - ※受信成功後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。



### 受信できない … 時刻修正は行ないません。

数分後に受信は止まります（そのままの時刻で連針されます）。  
※このときは、本体の向きや置き場所を変えて②ボタンを押して、もう一度受信開始させてください。  
※②ボタンを押さなくても「午後2:01」になると再び自動受信を開始します。  
※電波受信は午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01に行ないます。

●手動受信  
②ボタンを押すと、電波受信が開始され、受信ランプが点滅します。  
※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

受信できない場合でも、翌日に電波受信に成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

## 4 1～2週間電波受信の様子を見ます

本機は午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01（計7回/日）に受信を行ないます。受信結果は、毎分59秒/00秒/01秒に受信ランプの色（点滅表示）でお知らせします。

受信ランプが緑色で点滅することが多い

電波受信は良好

そのまま、その場所でお使いになれます。

受信ランプが赤色で点滅することが多い

電波受信しづらい

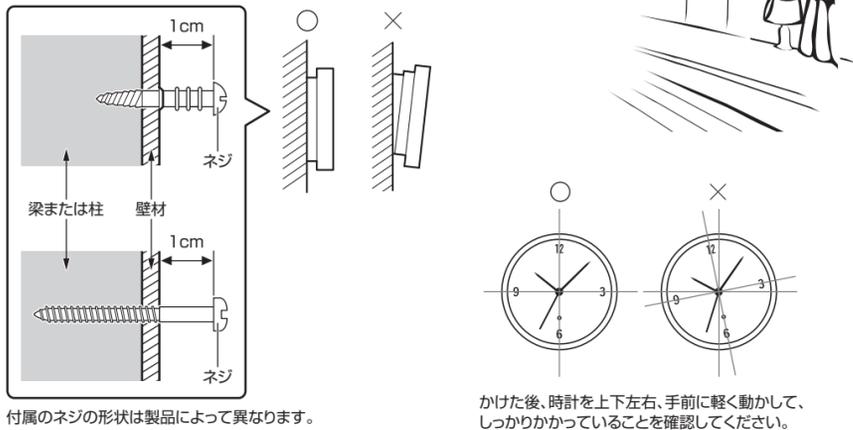
その場所では電波受信しづらいので、場所を変えて、再度電波受信の様子を見てください。

## 5 本機を取りつけます

※受信の様子を見た場所とお掛けになった場所で、電波受信に差が出る場合があります。

### <時計の掛け方について>

- ネジを垂直な梁が通っている壁面または柱にしっかりネジ込みます。
- 下図の様に時計を正しい姿勢で取りつけます。



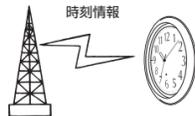
付属のネジの形状は製品によって異なります。

かけた後、時計を上下左右、手前に軽く動かして、しっかりかかっていることを確認してください。

# 電波時計について

### ●電波時計とは

正確な時刻情報 [日本標準時] をのせた長波標準電波 (JJY) を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。  
この標準時は「セシウム原子周波数標準器」等により制御されています。

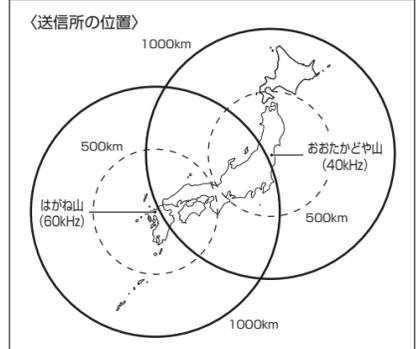
電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のスレが生じます。

### ●標準電波

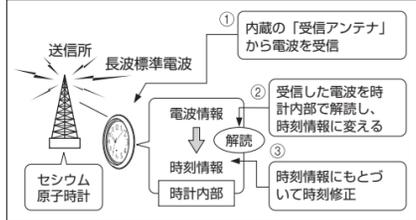
標準電波は独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz) および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」(60kHz) から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

### ●電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。  
※ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなる場合があります。  
※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼/夜）などによって受信できない場合があります。  
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。



### ●受信のしくみ



### ●電波受信について

本機は「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz) と「はがね山標準電波送信所」(60kHz) の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行ないます（自動選局機能）。通常は午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01に電波受信を自動的に行ないます（自動受信）。

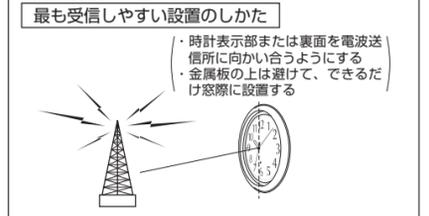


※1回の受信は約2～16分間（リセット直後は約4～16分間）です。  
※受信に成功すると、すぐに正しい時刻に修正されます。また毎分59秒/00秒/01秒に受信ランプが緑色に点滅し、受信成功をお知らせします。

受信ランプのインジケーター機能  
<受信中>  
受信ランプの色（点滅表示）でお知らせします。  
・緑色の点滅…受信しやすい  
・赤色の点滅…受信しにくい  
受信しやすい場所でも緑色の点滅になるまで5分程度かかります。  
<受信終了後>  
毎分59秒/00秒/01秒の3回受信ランプが点滅して受信状態の確認ができます。  
・緑色の点滅…本日、1回以上受信に成功している。  
・赤色の点滅…本日、1回も受信に成功していない。

### <正しく受信するために>

○電波受信できる場所でお使いください（「使用場所について」参照）。  
○本機を電波送信所方向に向けて、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。



○受信中（受信ランプ機能中）に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。なお、受信中に②ボタンを押すと、受信を中断します。

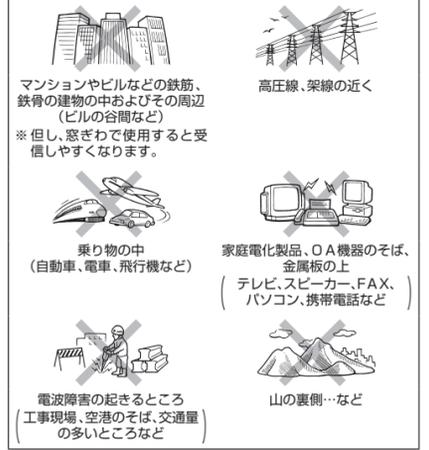
### <ご注意>

○①ボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間に②ボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。  
○電波受信を行なわない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。  
○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

### ●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

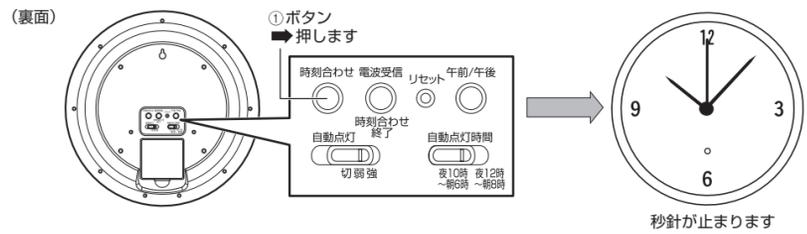


# 時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。  
以下の操作で時刻を修正すると、修正後24時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

## 1 ①ボタンを押します (セット状態への切り替え)

秒針が12時の位置に来たとき、①ボタンを押します。  
秒針が停止し、セット状態になります。



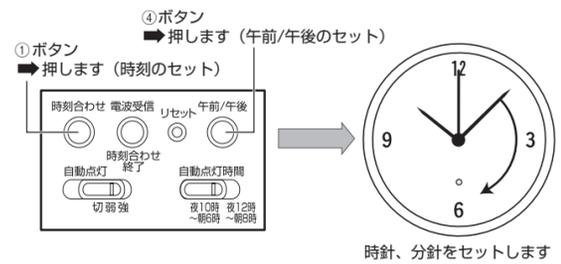
## 2 ①ボタンを押します (時刻のセット)

再度、①ボタンを押します。  
分針が動き、時刻をセットすることができます（時針は分針に連動して動きます）。

1回押します…1分進みます。

約2秒間押し続けます…分針の早送りを行ないます。

※時刻合わせは1分程度進めて合わせます（秒合わせが必要な為）。  
※④ボタンを押すごとに、午前/午後が切り替わります。現在の設定は受信ランプの色でお知らせします。  
・午前…緑色の点滅  
・午後…赤色の点滅



## 3 ②ボタンを押します (時刻のスタート)

テレビや電話サービス等の時刻に合わせ、②ボタンを押します。  
秒針が動き出し、セットは終了します。  
※セット状態でも何れ操作をしないと、約3分後に自動的にセット状態を解除します。

